

新展示を作る作業

今回の展示替えは平成13年度から始まった基本構想案策定からスタートしました。基本構想の策定作業の中で、自然系の展示の内容と理工系で取り扱っている水・雪、気象に関する内容を統一し、一つの展示として展開する方針が打ち出され、現在の展示構成である「とやま・時間のたび」(1階)、「とやま・空間のたび」、「おもしろ実験ひろば」、「とやま・ノーベル賞受賞者コーナー」(2階)、「宇宙へのたび」(3階)の5つの展示で構成することになりました。

さらに、館名称も活動実体がわかりやすい「富山市科学博物館」に変更されることになりました。

今回の展示替えの作業のあゆみ

年度 (平成)	作業 内 容	
13	基本構想策定	展示委員会を開催し、入館者・学校関係者へのアンケートを行い、基本構想にまとめる。
14	基 本 設 計	基本構想をもとに、基本設計を行う。
15	実 施 設 計	実施設計を2カ年に行なって行った。 ロビーなどのパブリックスペースの大規模なリニューアルと城南公園の再整備計画も追加された。また、展示室の断熱材に含まれていたアスベスト除去も並行して行うことになった。
16	施 工	9月4日から休館とし、展示室の造作や展示品および1階ホールの解体・撤去、再利用品の保管、展示室内のアスベスト除去の後、3月から新展示の施工が始まった。
17	施工・オープン	オープン後の館名称を「富山市科学博物館」とする事に決定。 展示機器・大型標本の工場製作と搬入、パネルの製作・取り付け、標本類の取り付けを行い、完成検査の後オープンした。

工事中のようす



「とやま・時間のたび」入口



「とやま・空間のたび」出口



おもしろ実験ひろば



「とやま・時間のたび」



「宇宙へのたび」



館名称取り付け